

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	人権福祉センター耐震改修・大規模修繕事業		担当部署	健康福祉部 人権推進課 人権福祉センター	
総合計画体系			根拠法令 計画など	社会福祉法、建築基準法、地方改善施設整備費補助金交付要綱、隣保館運営費等補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">▼</span> 28年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 隣保館(人権福祉センター・川崎会館)及び周辺地域住民、関係団体																						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地域社会全体に開かれたコミュニティセンターとしての隣保館として実施すべき事業や公共施設の効率的な運用の観点から、隣保館のあるべき運営形態を調査・審議する鳴門市隣保館運営審議会の答申を踏まえつつ、地域の避難所施設としての機能を充実させるため、隣保館の耐震改修・大規模修繕を行う。																						
事業計画	29年度に何を計画していたか	①人権福祉センターの耐震改修・大規模修繕設計を行う。 ②地域住民へのアンケート調査を反映した隣保館特別事業(隣保館デイサービス事業)を実施するとともに、その効果検証を行う。 ③平成29年9月に予定している鳴門市隣保館運営審議会の答申を踏まえ、平成30年度に取り組むべき事業に向けた予算措置や耐震改修・大規模修繕工事の実施に向けた準備を進める。																						
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">耐震改修・大規模修繕工事設計及び工事</td> <td>1</td> <td>設計予算措置</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td rowspan="2">件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事設計</td> <td>工事設計</td> <td>工事竣工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	耐震改修・大規模修繕工事設計及び工事	1	設計予算措置	1	1	1	1	件		工事設計	工事設計	工事竣工		
指標名		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位																	
耐震改修・大規模修繕工事設計及び工事	1	設計予算措置	1	1	1	1	件																	
		工事設計	工事設計	工事竣工																				

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①人権福祉センターの耐震化改修・大規模修繕設計を行い、平成30年3月に設計を完了した。 ②地域住民へのアンケート調査を反映した隣保館特別事業(隣保館デイサービス事業)を2隣保館で7種類66回開催し、のべ932人の利用者があった。 ③鳴門市隣保館運営審議会の答申を踏まえ、隣保館事業経費の大部分を占める人件費の削減に取り組み、人権福祉センターに配属されていた正規職員1人を臨時職員に置き換え、コスト削減を図った。 ④人権福祉センター耐震化改修・大規模修繕工事の際に活用する国・県の地方改善施設整備費補助金について、県との協議を行い、国へ関係資料を提出した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	隣保館デイサービス事業実施種類数	-	7	5	7	種類	
	2	隣保館デイサービス事業参加のべ人数	-	932	550	900	950	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標		耐震改修・大規模修繕工事設計及び工事	1	1	1	-	-	件
		目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	平成29年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		1,206	0	5,300	0	1,394	7,900
		補正予算額		0	0	0	0	0	0
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		1,206	0	5,300	0	1,394	7,900
		決算額		1,131	0	5,100	0	1,344	7,575
		繰越額		0	0	0	0	0	0
		人件費		正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
		1.0	0.0	7,234		14,809			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：人権福祉センター耐震改修・大規模修繕事業】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	0	7,575	258,025		
	うち一般財源	0	1,344	16,207		
	人件費	0	7,234	7,234		
	総事業費	0	14,809	265,259		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		平成28年度の地域住民へのアンケート結果を反映した隣保館デイサービス事業の内容としたので、住民からも好評であった。
	効率性	B:概ね効率的だった		事業実施初年度であり、効率性については、今後の効果検証を待つ必要がある。
②成果に対する評価	指標名	耐震改修・大規模修繕工事設計及び工事		当初の予定通り、平成29年度中に人権福祉センターの耐震改修・大規模修繕工事設計を完了した。また、設計を受けて平成30年度に人権福祉センターの耐震改修・大規模修繕工事を実施する予算措置や国・県の地方改善施設整備費補助金交付に係るヒアリングや資料を提出することができた。
	目標	1	件	
	実績	1	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		鳴門市隣保館運営審議会の答申で示された隣保館運営経費の削減や隣保館活動活性化の一環である隣保館デイサービス事業の開始、人権福祉センターの耐震改修・大規模修繕工事に向け一定の目途がついたので、A評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①人権福祉センター耐震化改修・大規模修繕工事には、国・県の地方改善施設整備費補助金を活用するが、補助金交付の要件として、平成30年度中の工事竣工が条件となっている。工事に約6か月を要することから、平成31年3月末までに工事を完了するよう、工事担当課をはじめとする関係各課や工事施工業者と十分な協議と連携、スケジュール管理が必要不可欠である。 ②平成29年度の鳴門市隣保館運営審議会の答申を踏まえ、答申を反映した隣保館の管理・運営を進めていくため、隣保館デイサービス事業の効果検証や耐震化された人権福祉センターのさらなる利用・活性化に向けた調査研究を行っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成30年度	工事担当課をはじめとする関係各課や工事施工業者と十分な協議と連携、スケジュール管理を行い、平成31年3月末までに人権福祉センター耐震化改修・大規模修繕工事を完了する。			
	平成31年度				